



浄土宗 身代わり地蔵のお寺 常德寺主催

令和2年

土曜てらこや塾



お寺で学ぼう!体験しよう!どなたでもご参加いただけます



お寺に足を運んでみませんか? 常德寺では「土曜てらこや塾」を開講しています。平成24年6月に開講した「土曜てらこや塾」は多様な講師陣をお迎えし、大変好評を頂いています。世の中が多種多様化した昨今、様々な価値観が生じ、ぎくしゃくした人間関係、どことなく感じる閉塞感、生きがいを見いだせない等々で悩みも多い時代です。てらこや塾を通し、お寺を身近に感じ、生きる心の糧の一助となれば幸いです。令和2年は下記にて開講いたします。ご興味のある方は是非ともご受講ください。

●第51回 6月20日(土) 参加費無料 共催 浄土宗豊島組教化分団

午後3時 法 要 「別時念仏会」
午後3時半 講 話 講題 “お経は心の処方箋” 『お坊さんはなぜお経を読む?』

講師 石田 一裕 師

横浜市南区・光明寺副住職/浄土宗総合研究所研究員
常德寺前副住職/昭和56年生まれ。北海道出身。
インド仏教、特にガンダーラの仏教を専門に研究しつつ、
浄土宗総合研究所では、経典や法然上人の御法語の翻訳
に携わっている。著書に『現代語訳 浄土三部経』がある。

「お経を聞くと、どんなことをイメージしますか?」
「聞いてもよく意味がわからない」というのが本音
かもしれません。しかしその内容は、私たちの生き方
を豊かにするヒントにあふれたものです。
お経はお釈迦様から出された心の処方箋なのです。
音だけではなかなか理解できない読経の響きではあり
ますが、その内容について講師にわかりやすく解説
いただきます。

●第52回 8月15日(土) 受講志納金500円

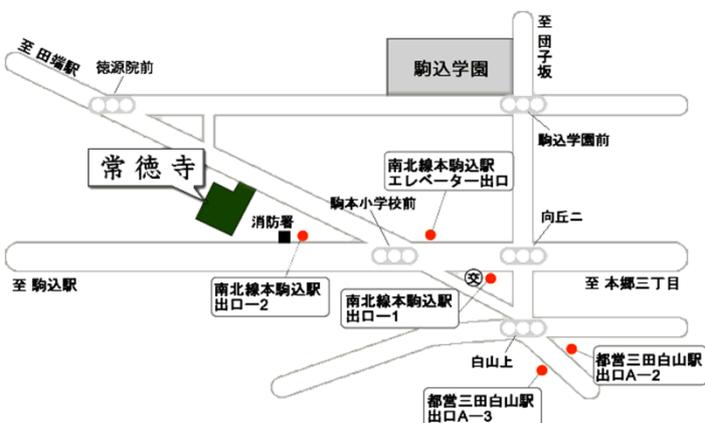
午後4時 講 話 講題 お風呂の変遷にまつわる四方山ばなし数々 銭湯風俗史【余聞】

講師 山口 則彦 氏

お江戸ウォーカー・歴史演芸ライター
岐阜県郡上八幡生まれ。山口県育ち。
江戸庶民文化史の研究や講談・落語創作
に勤む。講演、歴史散策講座を担当。
新宿区神楽坂在住。

日本人は無類のお風呂好きとして知られています。
古くは仏教寺院での布教活動の一環として施浴
(せよく)の場が設けられたところから、身分や貧富
の差に関わることなく庶民までが、広く入浴の習慣
を身につけてゆきます。江戸、明治を経て現代の
銭湯に至るまでを、わかりやすく興味深い解説で
お楽しみいただきます。

午後5時 法 要 無縁仏「千灯供養」 お灯明料 1,000円



お申込みはFAXまたは
お電話、来寺受付



裏面FAX申込書

〒113-0021
東京都文京区本駒込3-7-16
TEL 03-3828-4253
FAX 03-3828-8292

浄土宗 善龍山 常德寺

<https://www.jotokuji.or.jp>

令和2年 土曜てらこや塾



FAXお申込書 03-3828-8292

お申込日 年 月 日

お申込者名	様
住所	(〒 -)
お電話番号	- -

希望講座に 願います



<input type="checkbox"/> 第51回 6月20日（土）15:00 “お経は心の処方箋” 『お坊さんはなぜお経を読む？』
<input type="checkbox"/> 第52回 8月15日（土）16:00 お風呂の変遷にまつわる四方山ばなし数々 銭湯風俗史【余聞】

通信欄

参加当日は筆記用具やノートをご持参ください。各講座の志納金は当日お納めください。お申込み後、ご事情により欠席となる場合は事前にご連絡願います。どなたでもご参加いただけます、多くの皆様にご参加いただければ幸いです。